

食べるなら“今”でしょ!

旬の魚類・果物!

～夏の人気ランキング～

魚類

1位



アオダイ

2位



マダコ

3位



ツリサバ

青果

1位



スイカ

2位



メロン

3位



ブドウ

市長に聞く

「食の都かごしま」の拠点

（中央卸売市場）

■鹿児島の農水産物と食についての思いをお聞かせください。

鹿児島は、黒潮と錦江湾の豊かな海で育まれた多くの種類の魚介類や、南国の温暖な気候を生かした野菜や果物が豊富で、まさに「食の都」と言っても過言ではありません。

特に、夏から秋にかけては、マダコやカンパチが水揚げされ、また、スイカやさつまいもも多く入荷するなど、四季を通じて「旬」の食材にとっても恵ま

れています。

ところで、九州新幹線全線開業後、全国から多くの観光客が訪れていますが、本市の魅力を感じていただく上で「食」の役割は大変重要

です。
このようなことから、「美味のまち鹿児島」「薩摩美味維新^{うんまか}」として、「食」をテーマにしたイベントやキャンペーンなどを通した魅力づくりを進めており、四季折々の味覚を、多くの皆さんに堪能いただいています。

また、私自身も、全国各地で鹿児島の優れた農産物のトップセールスを行うなど、積極的にPRしています。



昨年静岡市で行われた市長トップセールスの様子

■今後の中央卸売市場に期待することをお聞かせください。

本市の市場の起源は古く、江戸時代初期に中町に開設された納屋魚問屋です。それから約300年のときを経て、九州では最初の中央卸売市場として、昭和10年11月3日に今の住吉町に開設されました。

長年にわたり、市街地に近く、新鮮な食材を食卓にお届けできる立地条件の良い市場として、とても重要な役割を果たしています。

本市では、食の安全安心への関心の高まりや、生産・流通構造の変化、またライフスタイルの多様化による食生活の変化などを踏まえ、平成20年度に「鹿児島市中央卸売市場整備計画」を策定し、24年3月には魚類市場の再整備基本計画を、同年7月には青果市場のリニューアル基本計画を策定しました。

今後も中央卸売市場が、消費者や生産者の信頼に応え、安全安心な食材を市民の皆さんに提供するとともに、全国に誇れる鹿児島の「食」の魅力を伝える発信拠点となっていくことを期待しています。



今年1月5日の魚類市場の初せりで勢いよく鐘を鳴り響かせる森市長